

県内の高齢者 地域貢献に力

9月15日の老人の日から2日まで、法で「老人週間」と定められている。高齢者福祉への関心と理解を深め、高齢者に対し自らの生活向上に努める意欲を促すことが目的とされる。

三重県の高齢者は自分の時間をどのように使っているのか。総務省「令和3年社会生活基本調査」をみると、地域や他人のために過ごす人が全国比で多いことがわかる。

県内の65歳以上を対象に、睡眠・食事や仕事・家事・買い物などを除いた自由時間における行動について人口あたりの行動者数の割合をみると、「学習・自己啓発・訓練」が全国35位、「趣味・娯楽」と「旅行・行楽」がそれぞれ29位なのに対し、「ボランティア活動」は15位と上位に迫る。中でも、道路や公園等の清掃、花植え、まちおこしなど「まちづくりのための活動」は全国平均を3.1ポイント上回り13位。防災・防犯・交通安全運動など「安全な生活のための活動」は11位、高齢者の日常生活の手助けやレクリエーションなどの「高齢者を対象とした活動」は12位となった。

地域や他者への貢献という“役割”がある形での社会参加は、高齢者自身の生きがいにもつながっているだろう。一方、高齢者自身がその能力を発揮して地域を支える担い手となってきていることに、現役世代として敬意を表したい。

(地域調査部 主任研究員 谷ノ上千賀子)

65歳以上の人の
自由時間中の生活行動

	全国	三重県	
	行動者率	行動者率	全国順位
ボランティア活動	19.9%	22.3%	15位
まちづくりのための活動	10.6%	13.7%	13位
高齢者を対象とした活動	4.3%	5.3%	12位
安全な生活のための活動	4.0%	5.1%	11位
学習・自己啓発・訓練	28.4%	23.7%	35位
スポーツ	60.2%	59.4%	19位
趣味・娯楽	74.2%	71.1%	29位
旅行・行楽	33.9%	31.9%	29位

※65歳以上人口に占める行動者数の割合

資料：総務省「令和3年社会生活基本調査」

2020年10月20日～21年10月19日の1年間の自由時間
において該当する活動を行った状況

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む（百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました）」

2024年9月19日